学校番号	1009

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究（前）	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「精選古典探究」　（東京書籍）						
副教材等	「体系古典文法」　（数研出版）「重要古文単語 315」（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「言語文化」で学んだ知識をより一層深め、先人のものの見方や感じ方を味わいましょう。
・古典作品に親しみ、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査には学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力などを伸ばし、古典など通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古典を読むのに必要な語句の意味や用法、文章の構成、修辞などを理解し、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	展開のおもしろさを味わい、説話を正確に読み取る。 ［教材］ 『宇治拾遺物語』 「小野篁、広才のこと」	a:古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい，学習課題に沿って，説話を正確に読み取ろうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
	中国の話が引用された説話を、後世の特色に注意しながら読み取る。 ［教材］ 『古今著聞集』 「能は歌詠み」	a:古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b[読]:古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広めたりしている。 c:和歌を含んだ説話の構成を的確に捉え、学習課題に沿って二つの和歌の共通点や、和歌をめぐる登場人物の対応の仕方について考えようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
	歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意し、展開や内容を的確に捉える。 ［教材］ 『伊勢物語』 「初冠」	a: 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]:作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c:物語の内容や歌に込められた登場人物の思いをとらえようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
2	敬語表現を理解し、内容や人物の関係性を捉える。 ［教材］ 『枕草子』 「中納言参り給ひて」	a:古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:作品を読み、登場人物同士の関係性を読み解こうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
	展開のおもしろさを味わいながら、漢文の読み方を確認する ［教材］ 『不死之薬』	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:進んで漢文の読み方を確認し、学習課題に沿って故事成語の果たす役割について考えようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
	他の作品との関係も踏まえながら日記を読み、作者の境遇を的確に捉える	a:古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b[読]:作品の成立した背景やほかの作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c:文学史における女流日記文学の位置づけについて理解し、学習課題に沿って作	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート

	［教材］ 『更科日記』 「門出」	者の置かれた境遇や物語に向けられた心情について詠み取ろうとしている。			
	登場人物の行動や心情、出来事を捉える。 ［教材］ 『史記』 「鴻門之会」	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c:時代背景や登場人物に興味をもち、各陣営の戦略や、人物の心情・行動を読み取ろうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
3	古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解する。 ［教材］ 『史記』 「四面楚歌」	a:・時間の経過による言葉の変化や，古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 b[読]:作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c:時代背景や登場人物に興味をもち、各陣営の戦略や、人物の心情・行動を読み取ろうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
	他の作品との関係も踏まえながら作り物語の内容を的確に読み取る ［教材］ 『源氏物語』 「光源氏の誕生」	a::古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c:他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し、学習課題に沿って登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
	朗読などを通して、内容の解釈を深めたり、表現の特色について理解を深めたりする ［教材］ 『平家物語』 「壇の浦の合戦」	a:古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]:古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:軍記物語を思想的背景・歴史的背景に注意しながら読み、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間